

「区民の町会・自治会活動への参加の促進に関する検討会」  
検討経過概要及び各種調査分析結果報告について

見守り・支えあいが広がるまちの実現に向けて、区と町会・自治会と共催で立ち上げた、「区民の町会・自治会活動への参加の促進に関する検討会」について、検討経過概要及び、検討会にともない実施した各種調査分析の結果について報告を行う。

## 1 検討会の検討経過及び概要

### (1) 検討会の開催日時

第1回検討会 平成29年11月9日(木)

第2回検討会 平成29年12月21日(木)

### (2) 検討会概要

#### ①第1回検討会

- 町会・自治会長へのアンケート調査項目の検討
- 町会・自治会の現状と課題に関するグループ討議

#### ②第2回検討会

- 第1回のグループ討議で出された意見に基づく3つのテーマに関するグループ討議

<テーマ1> 活動への参加と担い手を増やす方法

- 参加のきっかけにつながるイベントやコミュニケーションの場づくり
- 児童の保護者を巻きこむための方策、学校やPTAとの連携について
- いろいろなスキルを持った人材の発掘や巻き込み方などについて
- 区民に対して、町会・自治会の加入や活動参加を促す条例等の必要性について など

<テーマ2> 仕事の見直しなど組織の運営・マネジメントの改善について

- 回覧板や掲示物等行政からの仕事の負担軽減の方法について
- 特定の役員に仕事が集中しないような執行部の体制づくりなど組織のマネジメントについて
- 担い手育成のための研修や交流の場づくりについて など

<テーマ3> アパート・マンションの加入率向上や参加促進の方策について

- マンション事業者の役割や責任について
- マンション等の町会・自治会と他の住民の交流について
- マンションの加入促進と参加を促す条例について など

## 2 各種調査分析結果（詳細は別紙のとおり）

### (1) 町会・自治会に関する既存調査の結果

#### ① 区民意識調査（平成27・28年度版）

- 町会・自治会の活動に「過去に参加したことがある」と回答した人の割合は、平成27年度、平成28年度ともに約25%
- 町会・自治会の活動に「今後の関わりを増やしたい」との回答は、平成27年度9.1%、平成28年度11.1%とやや増加

#### ② 健康福祉に関する意識調査（平成26～28年度版）

- 地域活動として町会・自治会の活動に参加していると回答した人の割合は、平成28年度では12.4%で、年々低下傾向にある。

### (2) 町会長向けアンケート結果概要

<調査対象> 区内町会・自治会の会長109名

<調査期間> 平成29年1月13日から12月1日まで

<調査方法> 区民活動センター職員による聞き取り調査

<回収状況> 回答数106件、回答率97.2%

- 加入率は、約6割の町会・自治会が50%以上との回答
- 町会・自治会の世帯規模が大きくなるほど、加入率が低くなる傾向
- 町会・自治会の組織運営上の課題は、「役員の高齢化や役員のなり手不足」「役員の負担が大きい」が上位
- 町会・自治会に対する依頼業務の負担は、「掲示板、回覧板などの配布物が多い」が上位
- 町会・自治会において、特に重要な地域課題は、「支援の必要な高齢者の増加」「子どもの安全対策や犯罪防止などの地域の安全対策」が上位

### (3) 中野区、警察署及び消防署向けアンケート結果概要

<調査対象> 中野区役所全分野、中野・野方警察署、中野・野方消防署

<調査期間> 平成29年10月～11月

<調査対象年度> 平成29年度（設問2のみ平成28年度）

- 区などが主催する会議体で、町会・自治会の代表者を委員とするものは、52件（うち警察・消防4件）
- 平成28年度に区・その他団体（警察署、消防署、税務署等）が町会・自治会に掲示板・回覧板の依頼をした件数は、60件

## 3 今後の予定

第3回検討会 1月下旬～2月上旬 課題に対する具体的解決策の検討

第4回検討会 3月上旬 最終報告に向けたまとめ